

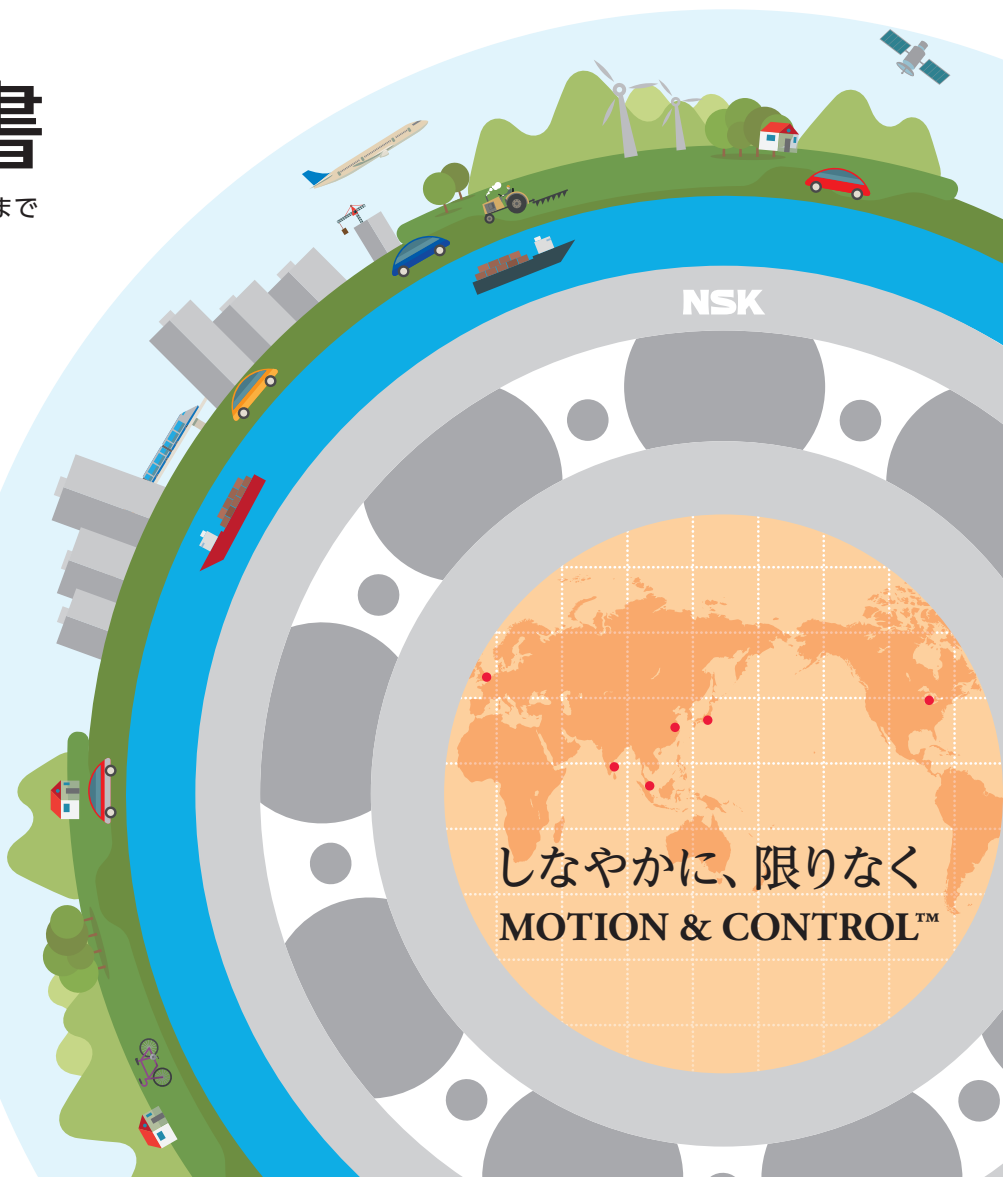
(株主通信)

第157期 中間報告書

2017年4月1日から2017年9月30日まで

CONTENTS

企業理念・経営姿勢／ 連結決算ハイライト	1
株主の皆様へ	2
セグメント別の概況	3
連結財務諸表(要旨)	5
連結業績の推移	6
第5次中期経営計画の 進捗について	7
NSKグループのCSR	8
会社情報／株式情報	9
株主メモ／ 投資家情報サイトのご案内	10



企業理念

NSKは、MOTION & CONTROL™を通じ、円滑で安全な社会に貢献し、地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、国を越えた人と人の結びつきを強めます。

経営姿勢

- 1 世界をリードする技術力によって、顧客に積極的提案を行う
- 2 社員一人ひとりの個性と可能性を尊重する
- 3 柔軟で活力のある企業風土で時代を先取りする
- 4 社員は地域に対する使命感をもとに行動する
- 5 グローバル経営をめざす

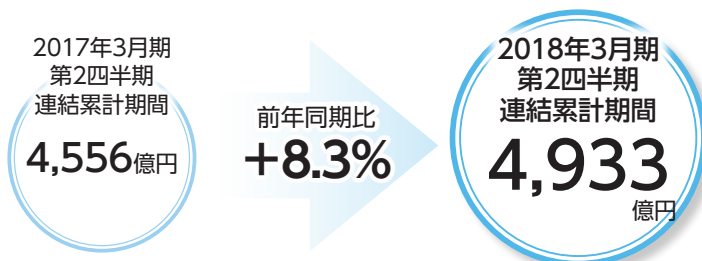
● 中間配当について

当期の中間配当金は下記のとおりです。

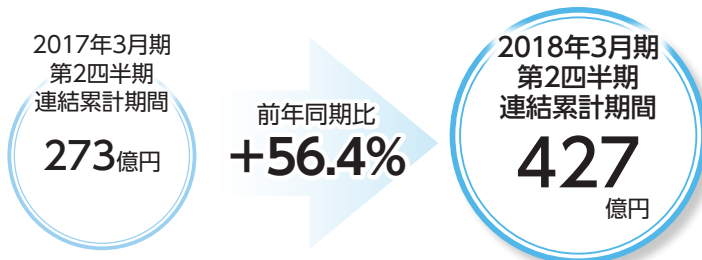
1. 中間配当金 **1株につき19円**
2. 中間配当の効力発生日
並びに支払開始日 **2017年12月1日(金)**

◎ 連結決算ハイライト

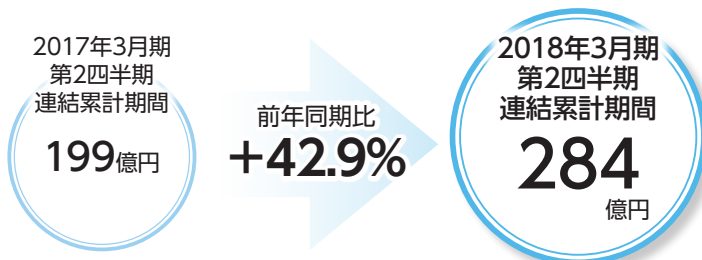
売上高



営業利益



当期利益(親会社の所有者)



(注) 当社グループの連結計算書類は、国際会計基準(IFRS)を適用しております。



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社第157期中間報告書（2017年4月1日から2017年9月30日まで）をお届けいたしますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

当社は、次の100年に向けた持続的な成長のために、新たな価値を創出していける企業を目指します。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役 代表執行役社長・CEO 内山俊弘

連結決算の概況

当社は、2016年11月8日に創立100周年を迎えました。当社グループの企業理念の実現に向けて、創立100周年から10年後の2026年に目指していく姿を「NSKビジョン2026(あたらしい動きをつくる。)」として策定しました。

この「NSKビジョン2026」の下、当社グループは2016年度から2018年度迄の第5次中期経営計画をスタートさせました。この中期経営計画では、「次の100年に向けた進化のスタート」をスローガンとし、「オペレーショナル・エクセレンス(競争力の不断の追求)」と「イノベーション&チャレンジ(あたらしい価値の創造)」を方針に据えて、持続的成長、収益基盤の再構築、新成長領域確立の3つの経営課題に取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済を概観すると、日本経済は消費の持ち直しや雇用情勢の改善もあり、緩やかな回復が続きました。米国経済は個人消費や設備投資の増加を受け、堅調に推移しました。欧州では、ユーロ圏を中心に緩やかな回復傾向が継続しました。また、中国は各種政策効果

もあり景気は底堅く推移し、その他アジアでは景気の緩やかな回復の動きがみられました。

このような経済環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,933億25百万円と前年同期に比べて8.3%の増収となりました。営業利益は427億34百万円(前年同期比+56.4%)、税引前四半期利益は424億39百万円(前年同期比+60.1%)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は283億83百万円と前年同期に比べて42.9%の増益となりました。

利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営方針の一つとしています。配当については、連結ベースでの配当性向30%を目安として継続実施することを基本とし、財務状況等を勘案して決定したいと考えています。この基本方針のもと、当期の中間配当金につきましては、1株当たり19円で実施します。また、期末配当金については、1株当たり19円を予定しています。

セグメント別の概況 (IFRS基準)

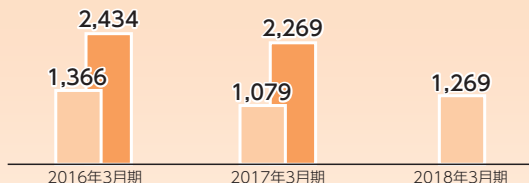
産業機械事業

売上高 **1,269** 億円
(前年同期比 17.7% )

営業利益 **102** 億円
(前年同期比 93.7% )

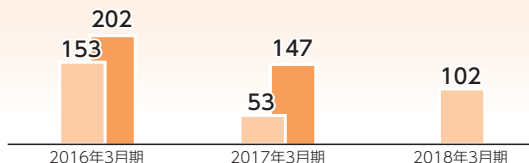
売上高

第2四半期連結累計期間 通期 (単位:億円)



営業利益

第2四半期連結累計期間 通期 (単位:億円)



産業機械事業
25.7%

売上高

第2四半期の概況

産業機械事業の回復が続いています。当社グループの状況を地域別にみると、日本では、工作機械向けや建設機械向けを中心に増収となりました。米州は半導体製造装置向けの売上高が増加しました。欧州においては、工作機械向けは増加した一方、風力発電向けが減少しました。中国では、工作機械向け、電機向け及びアフターマーケット向けが堅調に推移し売上高が増加しました。その他アジアにおいては、半導体製造装置向けを中心に需要の回復がみられ増収となりました。

この結果、産業機械事業の売上高は1,269億17百万円(前年同期比+17.7%)、営業利益は102億46百万円(前年同期比+93.7%)となりました。

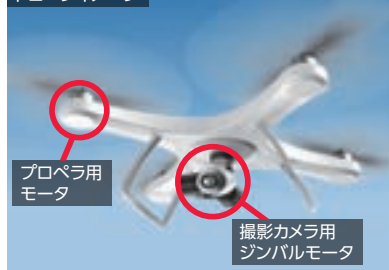
産業機械事業では、中長期的な成長セクターであるインフラ関連でのシェアを高め、高い成長が期待できるロボットや医療など新分野でのプレゼンス拡大を図ることを目標に掲げて取り組んでいきます。

トピックス

ドローンに使われているNSK製品

プロペラを回転するモータ、撮影カメラを制御するジンバルモータには、多くのNSK玉軸受が使われています。今後の用途拡大に伴う要求機能の高度化(長寿命、高密封、耐腐食等)に応える製品を提供していきます。

ドローンイメージ



空撮・ホビー用途

【標準シリーズ軸受】



点検・農業用途

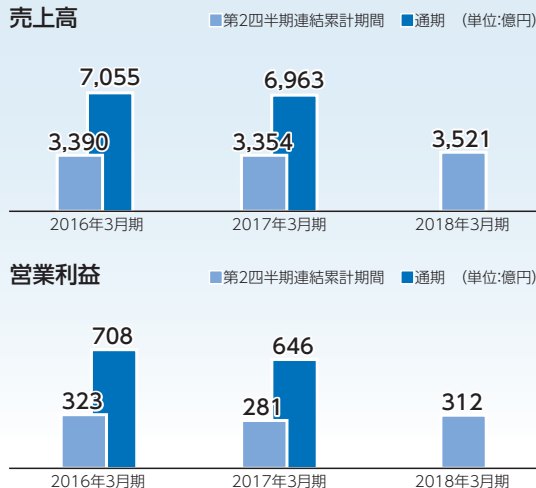
【耐腐食軸受】



その他
2.9%

構成比

自動車事業
71.4%



自動車事業

売上高 **3,521** 億円
(前年同期比 5.0% )

営業利益 **312** 億円
(前年同期比 11.2% )

■ 第2四半期の概況

自動車事業は緩やかな拡大が続きました。当社グループの状況を地域別にみると、日本では、トランスミッション向けを中心に売上高が増加しました。米州は米国市場の減速に伴い減収となりました。欧州の売上は、車種構成の影響もあり微増に留まりました。中国では、日系カーメーカーの好調を受け増収となりました。その他アジアにおいては、インドを中心に売上高が増加しました。

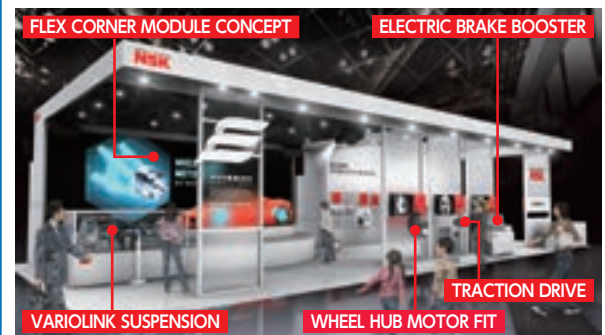
この結果、自動車事業の売上高は3,521億39百万円(前年同期比+5.0%)、営業利益は312億32百万円(前年同期比+11.2%)となりました。

自動車は動力源の多様化や自動運転へと向う運動制御の進化など、技術面での構造変化が加速しています。NSKはこれまで培ってきた技術をベースに、部品やシステム製品を通じて、自動車の技術革新に貢献していきます。

トピックス

第45回東京モーターショー2017に出展

自動車の電動化・電子化が進む中、NSKの「走る」「曲がる」「止まる」における次代の“動き”を追求していきます。



アソシエイト・システム・ソリューションズ



~その動きで、明日を動かす。~

四半期連結財政状態計算書

単位：百万円

科目	2018年3月期 第2四半期 連結会計期間 (2017年9月30日)	2017年3月期 連結会計年度 (2017年3月31日)
資産		
流動資産	524,688	506,284
現金及び現金同等物	154,103	139,573
売上債権及びその他の債権	209,249	200,954
棚卸資産	142,983	131,810
その他の流動資産	18,351	33,946
非流動資産	561,665	537,670
有形固定資産	336,402	329,183
無形資産	17,471	17,174
その他の非流動資産	207,792	191,312
資産合計	1,086,354	1,043,955
負債		
流動負債	321,083	318,603
仕入債務及びその他の債務	145,514	150,212
その他の金融負債	118,787	111,240
その他の流動負債	56,781	57,149
非流動負債	236,188	240,340
金融負債	149,784	157,240
退職給付に係る負債	22,564	24,771
その他の非流動負債	63,839	58,328
負債合計	557,272	558,943
資本		
資本金	67,176	67,176
資本剰余金	80,033	79,676
利益剰余金	329,513	308,395
自己株式	△ 17,905	△ 17,937
その他の資本の構成要素	47,097	24,039
親会社の所有者に帰属する 持分合計	505,915	461,350
非支配持分	23,167	23,661
資本合計	529,082	485,011
負債及び資本合計	1,086,354	1,043,955

四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	2018年3月期 第2四半期 連結累計期間 (2017年4月1日 ～2017年9月30日)	2017年3月期 第2四半期 連結累計期間 (2016年4月1日 ～2016年9月30日)
売上高	493,325	455,580
売上原価	383,076	356,934
売上総利益	110,249	98,646
販売費及び一般管理費	68,865	65,354
持分法による投資利益	2,829	1,697
その他の営業費用	1,479	7,660
営業利益	42,734	27,328
金融収益	1,306	1,268
金融費用	1,601	2,085
税引前四半期利益	42,439	26,511
法人所得税費用	12,014	5,122
四半期利益	30,424	21,389
(四半期利益の帰属)		
親会社の所有者	28,383	19,869
非支配持分	2,041	1,520

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	2018年3月期 第2四半期 連結累計期間 (2017年4月1日 ～2017年9月30日)	2017年3月期 第2四半期 連結累計期間 (2016年4月1日 ～2016年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,445	39,472
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,047	△ 22,934
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,786	△ 33,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,918	△ 5,251
現金及び現金同等物の増減額(△：減少)	14,530	△ 22,353
現金及び現金同等物の期首残高	139,573	175,515
現金及び現金同等物の四半期末残高	154,103	153,162

※四半期連結財務諸表は、国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。

国際会計基準(IFRS)の任意適用開始について

当社グループは、財務報告の標準化による経営効率の向上、資本市場における財務報告の国際比較可能性を高めることなどを目的として、2016年3月期の有価証券報告書における連結財務諸表より国際会計基準(IFRS)の任意適用を開始しました。

表示されている連結業績は、IFRSによる数値を掲載しています。

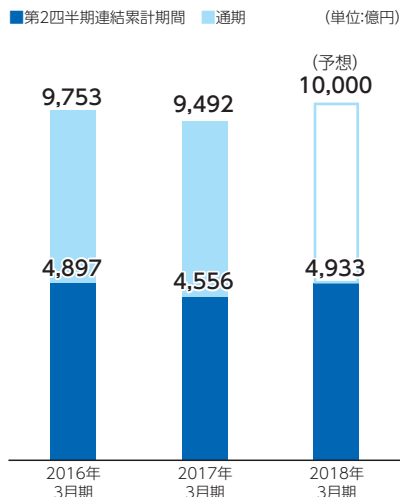
連結業績(IFRS)における主な変更点

IFRSの損益計算書では、日本基準で営業利益に含めていなかった「営業外収益・費用」及び「特別損益」のうち、金融収支を除いて営業利益の構成項目として表示するように変更いたしました。

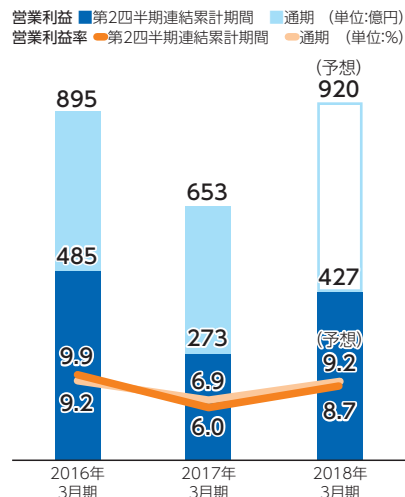
また、IFRSでは、日本基準における「経常利益」の概念がなくなりました。

※2016年3月期からのIFRS適用に伴い、3期分を記載しています。

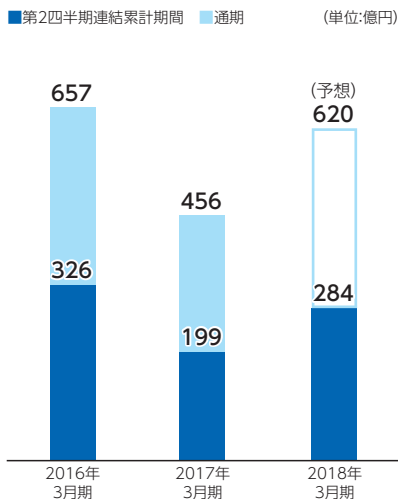
売上高



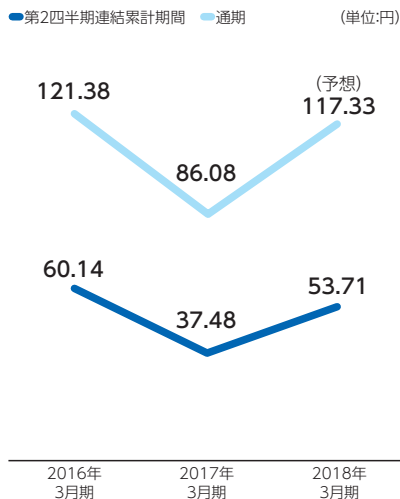
営業利益／営業利益率



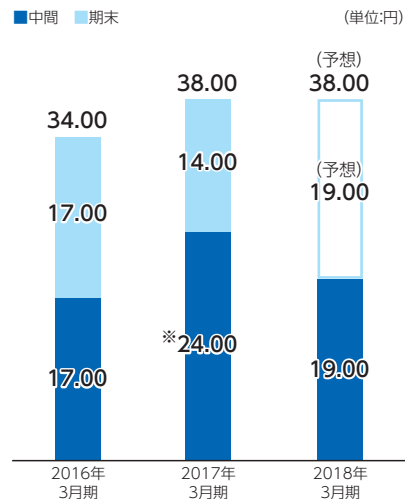
四半期(当期)利益(親会社の所有者)



基本的1株当たり四半期(当期)利益



1株当たり配当金



※記念配当10円を含む

第5次中期経営計画の進捗

2016年度から始めた3カ年の中期経営計画の進捗状況をご案内します。

■ 骨子

NSKビジョン2026 あたらしい動きをつくる。

次の100年に向けた進化のスタート



■ 重点課題

産業機械事業

環境変化への対応とターゲット分野での拡大

オペレーショナル・エクセレンス ・市場環境変化への対応力・収益力強化
・商品開発力の強化

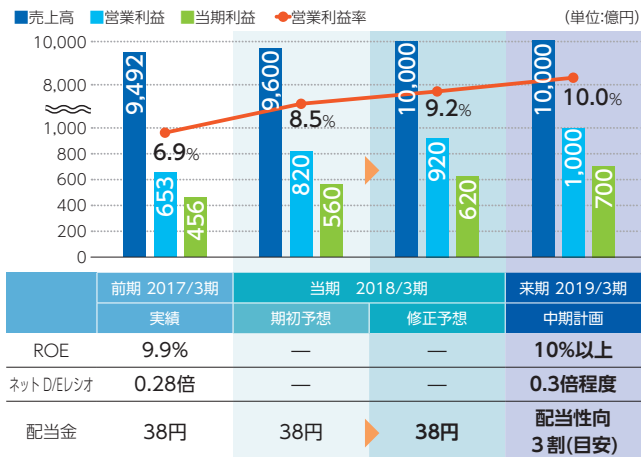
イノベーション&チャレンジ ・重点セクターへのリソース集中
・新しい付加価値・需要の創造

●業績進捗(産業機械事業)

	前期 2017/3期	当期 2018/3期		来期 2019/3期
	実績	期初予想	修正予想	中期計画
売上高	2,269億円	2,335億円	2,590億円	2,710億円
営業利益	147億円	175億円	255億円	320億円
営業利益率	6.5%	7.5%	9.8%	11.8%

・需要回復に伴い、当期修正予想は前期実績を大きく上回る見通しです。

■ 業績推移



自動車事業

収益基盤強化と将来成長への布石づくり

オペレーショナル・エクセレンス ・ドライブトレイン事業拡大と収益のある成長
・EPS顧客ポートフォリオの拡大

イノベーション&チャレンジ ・技術進化への対応(高効率/電動化/自動運転)
・下流アシストEPSの開発

●業績進捗(自動車事業)

	前期 2017/3期	当期 2018/3期		来期 2019/3期
	実績	期初予想	修正予想	中期計画
売上高	6,963億円	6,980億円	7,130億円	7,000億円
営業利益	646億円	625億円	640億円	640億円
営業利益率	9.3%	9.0%	9.0%	9.1%

・北米市場での調整もありますが、営業利益率9%台を維持しています。

2015年に国連は、「持続可能な開発目標(SDGs)」を採択しました。SDGsでは、豊かさの追求と同時に、貧困の撲滅や格差の解消、地球環境の保全など、グローバル社会が抱える様々な問題の解決に向け、行政機関や企業、市民が力を合わせて取り組むことが求められています。

NSKは、本業のビジネスを通じて、「円滑で安全な社会」や「地球環境の保全」に貢献することを企業理念で明確にしています。役員・従業員一人ひとりがNSKの役割と社会が目指すべき姿を理解し、ステークホルダーの視点に立って、事業の発展と社会への貢献に誠実に取り組むことで、NSKグループとしての企業価値向上と持続的成長を目指していきます。

社会(グローバル社会)との関係

NSKグループは、国連が定めたグローバル社会の共通目標であるSDGsなど、国際的な規範を尊重・配慮しています。私たちは、常にグローバルな視野で考え、行動することを経営姿勢に定め、活動の基本としています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



持続可能な社会の実現

NSKの企業価値向上

NSKグループの取り組み

NSKグループのステークホルダーとの関係

NSKグループの事業は、様々なステークホルダーとの信頼関係の上に成り立っています。私たちは、ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、より良い関係を構築していくことが重要と考えています。



環境面の取り組み(E)

- 環境マネジメント
- 環境貢献型製品の創出
- 地球温暖化対策
- 省資源・リサイクル対策
- 環境負荷物質対策
- 生物多様性の保全

社会面の取り組み(S)

- 研究開発
- 社会から信頼される品質づくり
- 活力ある職場づくり
- 地域社会との共生

ガバナンスの取り組み(G)

- コーポレートガバナンス
- リスクマネジメント
- コンプライアンス
- サプライチェーンマネジメント

NSKグループの創出価値

環境貢献
(小型化・軽量化・長寿命)
高度技術社会への貢献
豊かな社会の実現
幅広い産業の成長
モビリティ社会の進化
株主価値の向上

会社概要

会社名	日本精工株式会社 (NSK Ltd.)
本社	東京都品川区大崎一丁目6番3号
設立	1916年 (大正5年) 11月8日
資本金	671億円
従業員数	7,793名 (NSKグループ 31,760名)
主な事業内容	産業機械軸受、精密機器関連製品、自動車軸受、自動車部品の製造及び販売

役員

取締役 (代表執行役社長)	内山 俊弘	取締役	榎本 俊彦
取締役 (代表執行役専務)	野上 宰門	取締役*	釜 和明
取締役 (代表執行役専務)	鈴木 茂幸	取締役*	田井 一郎
取締役 (代表執行役専務)	神尾 泰宏	取締役*	古川 康信
取締役 (執行役専務)	荒牧 宏敏	取締役*	池田 輝彦
取締役 (執行役常務)	新井 稔	※社外取締役	
取締役 (執行役常務)	市井 明俊		



執行役専務	籾 正忠	執行役	ユリガン・アッカーマン
執行役常務	波田 安継	執行役	高山 優
執行役常務	後藤 伸夫	執行役	伊集院誠司
執行役常務	井上 浩二	執行役	三田村宣晶
執行役常務	池村 幸雄	執行役	山之内 敬
執行役常務	鈴木 寛	執行役	福田 和也
執行役常務	宮崎 裕也	執行役	山名 賢一
執行役常務	エドリアン・ブワン	執行役	スティーブ・ベグマン
執行役常務	池田 新	執行役	石川 進
執行役常務	小林 克視	執行役	新子 右矢
執行役常務	篠本 正美	執行役	吉清 知之
執行役常務	織戸 宏昌	執行役	郁 国平
執行役常務	入谷 百則	執行役	御地合英季
		執行役	明石 邦彦
		執行役	阿知波博也

株式の状況

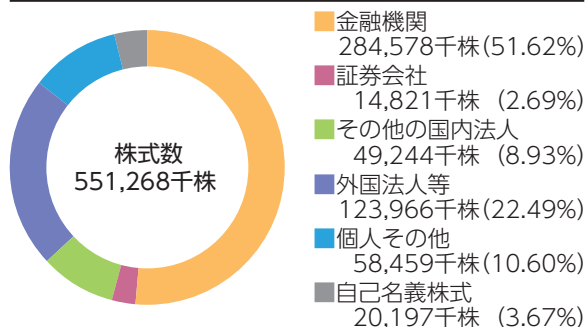
発行可能株式総数	1,700,000,000株
発行済株式総数	551,268,104株
株主数	30,943名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	39,483	7.43
明治安田生命保険相互会社	27,626	5.20
富国生命保険相互会社	27,600	5.19
日本生命保険相互会社	27,518	5.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	27,400	5.16
株式会社みずほ銀行	18,211	3.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社トヨタ自動車口	10,709	2.01
資産管理サービス信託銀行株式会社(投信受入担保口)	10,239	1.92
トヨタ自動車株式会社	10,000	1.88
株式会社三菱東京UFJ銀行	8,675	1.63

(注) 持株比率は、自己株式 (20,197千株) を控除して計算しています。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	同取次所	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
定時株主総会	6月	公告方法	電子公告にて行います。 http://www.nsk.com/jp/ 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。
配当の基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日		
株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社		
特別口座の 口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社	1.住所変更等については、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行にお申出ください。	
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話センター 0120-288-324 (フリーダイヤル)	2.未受領の配当金については、みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店でお支払いします。	



NSKホームページの投資家情報サイトのご案内

NSKは「投資家情報」サイトに社長メッセージや決算説明資料、財務・業績情報、株式情報などを掲載しています。また、株主の皆様により深くNSKのことをご理解頂くために開示情報の内容充実に努めています。

➤ 投資家情報 <http://www.nsk.com/jp/investors/>

主な内容

- 社長メッセージ
- 個人投資家の皆さまへ
- 経営方針
- 株式・格付情報
- IR資料室
- IRカレンダー
- 財務・業績情報
- IRに関するお問い合わせ

● 外部機関からの評価(SRI/ESG)

財務面だけではなく、環境・社会面での高い評価を併せ持つ企業は、長期的に持続可能な成長を期待される企業と認知され、SRI (=Socially Responsible Investment 社会的責任投資)の対象としてだけではなく、幅広い投資家からますます重要視されています。NSKは、世界的にその信頼性が認められた以下の代表的なSRI/ESGインデックスに組み入れられています。(2017年9月現在)



<http://www.sustainability-indices.com/>



<http://www.ftse.com/products/indices/FTSE4Good>



<http://www.ftse.com/products/indices/blossom-japan-jp>



http://forumethibel.org/content/ethibel_sustainability_index.html



<http://www.vigeo-eiris.com/>



<http://www.oekom-research.com/>



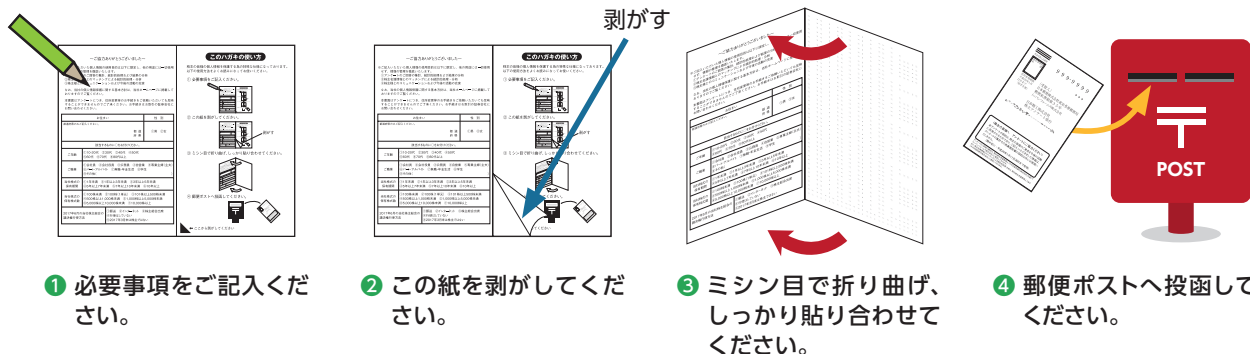
<http://www.morningstar.co.jp/sri/index.htm>

アンケートご協力をお願い

当社では、株主の皆様への今後の活動を充実させるため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

✎ アンケート回答方法

同封のアンケートハガキに必要事項をご記入のうえ、ハガキの記載に従い貼り合わせた後、郵便ポストへ投函してください。



アンケート締切日

2018年1月11日(木) 当日消印有効

※ご記入いただいた個人情報の使用目的は以下に限定し、他の用途には一切使用せず、情報の管理を徹底いたします。

- ① アンケートのご回答の集計、統計的処理および結果の分析
- ② 株主名簿情報とのマッチングによる統計的処理・分析
- ③ 株主様とのコミュニケーションおよび今後の活動の充実

NSK

日本精工株式会社
ホームページアドレス
✦ <http://www.nsk.com/jp/>

**UD
FONT**

**VEGETABLE
OIL INK**

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC
www.fsc.org
FSC® C022915